

平成28年4月14日から発生している「平成28年熊本地震」に対し、大隅河川国道事務所からは、人員や災害対策用の機械を派遣しています



災害応急対策に対する技術的な支援のため、
TEC-FORCEを熊本県内の被災地に派遣しました



TEC-FORCE出発の様子

※ TEC-FORCE (Technical Emergency Control FORCE : 緊急災害対策派遣隊)

TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

TEC－FORCEが現地で被災状況調査を行い、市役所や町役場に報告します



熊本県益城町でのTEC－FORCEの活動



打ち合わせの様子

TEC－FORCEが現地で被災状況調査を行い、市役所や町役場に報告します



熊本県益城町でのTEC－FORCEの活動



打ち合わせの様子

災害対応の連絡調整員として、熊本県御船町にリエゾンを派遣しました



リエゾンと町の方の打ち合わせ

※ リエゾン（災害対策現地情報連絡員）

フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするものです。

大隅の「作業班」が、地震発生直後の熊本において、道路啓開活動等を行いました

本震発生直後から、道路啓開活動等を行うため、大隅の作業班が現地に入りました。

地震により発生した、路面の割れの補修や段差解消、民地からの擁壁崩落対策として仮設防護柵の設置などを、熊本市、南阿蘇村の国道57号や、益城町の国道443号で行いました。

啓開活動により、災害対応などの緊急車両や作業車両、物資の輸送車両などの走行が円滑になり、被災地の早期復旧に繋がると期待しています。



←
大隅から向
かった作業班
の機械と車両、
及び南阿蘇村
（国道57号）
での段差解消
作業の状況



→
益城町（国道
443号）での
路面補修（路
盤の整正）の
作業の状況



↑ 仮設防護柵の設置（熊本市）

道路啓開活動については、**佐藤建設(株)**（災害協定業者）のご協力のもと行いました。引き続き関係各社と連携・協力し、**大隅河川国道事務所も復旧に向けて全力で取り組んで参ります。**

被災地には、照明車や散水車も派遣しています



夜間作業のための照明車



散水車で生活用水を給水
（水質チェック済みです）

散水車で水源地から運んだ水を熊本赤十字病院の浄水槽へ給水



地震による断水で熊本赤十字病院は深刻な水不足に陥りました。

赤十字病院では約350トンの水を備蓄しておりましたが、枯渇するのも時間の問題でした。

そこで、自衛隊を中心としたチーム編成により24時間給水を行うこととなりました。

国土交通省として、当事務所が保有する積載量約7トンの散水車1台を用いてピストン輸送（7回／日、約50トン）による給水活動を行いました。

編成チームの懸命な給水活動により危機を脱することができました。

断水解消までの間、引き続き全力で取り組んで参ります。

給水活動については、（株）フクケン（災害協定業者）のご協力のもと行っております。引き続き関係各社と連携・協力し、

大隅河川国道事務所も復旧に向けて全力で取り組んで参ります。